



Windchill+及び ThingWorx Navigate for Windchill+サービス記述書

Windchill+ オファリング及び ThingWorx Navigate for Windchill+オファリング の使用には、[SaaS 基本契約](#)（以下「本契約」といいます）の諸条件のほか、以下の追加の諸条件が適用されます。以下に定義されていない大文字の用語は、本契約で定義されている意味を有します。

定義されている用語

「アクティブデイリーユーザー」は、任意の 1 暦日 24 時間以内に PTC Navigate にアクセスする固有のユーザーの数に基づいて使用許諾されます。例えば、あるユーザーが ThingWorx Navigate のアプリケーションに、月曜日に 3 回及び金曜日に 2 回アクセスした場合、当該ユーザーは、それぞれ月曜日及び金曜日について単一（1 つ）のアクティブユーザーとして数えられます。基準となる 24 時間については ThingWorx サーバーに設定されているタイムゾーンによって定義されます。

「デモ及びテスト」：「デモ及びテスト」又は「非生産」を原則として（又は同様の指定に基づき）使用許諾される製品であり、当該許諾ソフトウェアを生産環境において使用することはできません。

「登録ユーザー」とは、本契約で定義された意味を有します。

データのエクспорт形式

正当な手続きに沿った Windchill データエクспортの場合、データのエクспорт形式には、データベーススキーマのエクспорт、Directory LDIF のエクспорт又は類似のユーザーリストのエクспорт、Enterprise LDAP LDIF のエクспорт、外部ファイルポールのコンテンツのうち、該当する項目が含まれます。

バックアップ及び災害復旧

PTC は、事業継続及び災害復旧のベストプラクティスをサポートするため、包括的なデータバックアップ・ポリシーを維持しています。システムの完全バックアップは毎日行われ、地理的に冗長な（Geo 冗長）場所に保管されます。本番システムのバックアップは 30 日間維持され、非本番システムのバックアップは 7 日間保存されます。

セキュリティ及びデータプライバシー

本サービスのセキュリティプログラムに関する情報は、[PTC トラストセンター](#)に掲載されています。

本サービスの一部として収集されるデータに関する情報は、<https://www.ptc.com/en/documents/policies> にあります。

ユーザーID 管理

お客様は、提供される PingFederate サービスを中央認証サーバー (CAS) として使用し、非本番の CAS (中央認証サーバー) 上で ID 管理及びアクセス管理の統合とシングルサインオン (SSO) エクスペリエンスを構成する責任を負います。

統合及びカスタマイゼーション

PTC は、PTC がホスティングすることについて本注文書で具体的に合意されない限り、カスタマイゼーション又はカスタムアプリケーションをお客様用にホスティングする義務を負いません。

<https://support.ptc.com/help/windchill/plus/r12.0.2.0/en/>に掲載されている Windchill+ Help Center には、許可されるコンフィグレーション、カスタマイズ、及び統合が明記されています。当該文書に記載されていないコンフィグレーション、カスタマイズ及び統合は許可されません。

バッチ

ユーザー数に基づいて使用許諾されるライセンスタイプ (登録ユーザーや同時ユーザーなど) の場合、当該許諾製品若しくはそこに含まれている機能又はデータへのアクセス (直接的であるか、又はウェブポータルを通じて、又は許諾製品若しくはそのデータを「バッチ」し、その他それらへの間接的アクセスを実現する他の機構を通じてであるかを問いません) をする個人ごとにライセンスが必要です。共通又は共用のログインは、認められません。

Windchill+

はじめに

本オファリングは、以下に示す PLM の包括的な機能を含む SaaS 環境をお客様に提供し、外部システム (ERP や CRM など) との統合をサポートします。オプション環境又はオプションサービスが別途購入可能です。

オファリングに関する基本事項

Windchill+ は「登録ユーザー」単位での契約となります。購入可能な登録ユーザーのプロファイル (設定) の種類として、Viewer、Contributor、Author が定義されています。Author ライセンスのユーザープロファイルには、追加機能の役割ベースのライセンスタイプを追加することができます。各プロファイルでは、当該プロファイルによって使用権が付与される機能に対してのみ、割り当てられているユーザーにアクセス権が付与されます。お客様は、Windchill 本番環境のライセンスプロファイルにユーザーを割り当てる必要があります。ユーザーを適切なライセンスプロファイルに指定しない場合、超過料金が生じる可能性があります。ユーザーのライセンスプロファイルを別のプロファイルへと遡及的に変更することはできません。

標準的な権利

すべてのサブスクリプションには、1 つの本番インスタンスと 1 つの非本番インスタンスへのアクセス権が含まれています。非本番インスタンスは、購入時に追加することができます。1 つのサブスクリプションは、1 つの本番インスタンスのみを有することができます。例えば、互換性のない構成を必要とする異なる事業部門をサポートするために、お客様が複数の本番インスタンスを必要とする場合、それぞれに別の本番イン

スタンスが必要です。お客様は、各インスタンスの URL プレフィックスを指定し、また PTC が提供する利用可能なオプションのセットから非本番インスタンスの URL サフィックスを選択することができます。お客様が提供するドメイン名には対応していません。

パブリッシングの権利

お客様は、サポートされる Microsoft Office アプリケーション (<https://www.ptc.com/en/support/release-advisor> で検索可能な該当する Windchill+ バージョンのサポートマトリックスで指定されています) 用のパブリッシング機能を利用することができます。ただし、1 カ月あたり Author ユーザーあたり 300 パブリッシングジョブ (すべての Author ユーザーで測定) を上限とします。

お客様は、サポートされる CAD アプリケーション (<https://www.ptc.com/en/support/release-advisor> で検索可能な該当する Windchill+ バージョンのサポートマトリックスで指定されています) 用のパブリッシング機能を利用することができます。ただし、1 カ月あたり Designer ユーザーあたり 125 パブリッシングジョブ (すべての Designer ユーザーで測定) を上限とします。

この上限を超えて使用された追加のパブリッシングジョブは、契約年単位で超過分として請求されます。

「SaaS Windchill Migration Environment」を購入されたお客様は、マイグレーションによって生じた追加のパブリッシング需要は、当該ドキュメントの最新リリースバージョンでない限り、制限に算入されます。例えば、お客様がマイグレーションによって生じたパブリッシングジョブを持ち、そのジョブが該当するドキュメントの最新バージョンである場合、そのパブリッシングジョブは制限の対象とはなりません。

場合によっては、本サービスがデータ (Creo CAD システム以外から得られるデータ、PTC のパートナーが作成したアプリケーションのデータ、文書形式変換モジュールで生成されるデータなど) を処理できるよう、Windchill と互換性のある一定の第三者ソフトウェアを PTC がインストールし、実行することが必要になる場合があります。この場合、当該の第三者ソフトウェアを PTC がお客様用にインストールし、実行するために、本注文書で具体的に合意されなければならないものとし、お客様は、当該の第三者ソフトウェアを PTC SaaS でホスティングするためのライセンス及び許可を確保しなければなりません。

データストレージの権利

ボルトコンテンツ用データストレージ: お客様には、下表で特定されているとおり、役割 (すべてのライセンスに渡って測定されます) に応じて登録ユーザーごとにボルトコンテンツ用データストレージの権利が付与されます。また、必要に応じて、ストレージの追加容量を 1 TB 単位で購入できます。お客様が使用权を持つストレージの総容量は、有効な PTC サブスクリプションのある、お客様の使用上の要件に対応するために PTC により割り当てられたすべての PLM SaaS 及びマネージドサービス環境 (本番及び非本番) で共有されます。

ユーザータイプ	ユーザーごとのデータストレージの割り当て
Author (with Designer)	100 GB
Author	20 GB
Contributor	0 GB

Viewer	0 GB
--------	------

データベースストレージ: Windchill+ サービスには、ユーザーごとのデータベースストレージの割り当て（Author は最大 2GB、Contributor は最大 1GB、Viewer には割り当てなし）が含まれ、お客様環境すべてにわたる総計で測定されます。お客様の割り当て分を超えるデータベースストレージの消費は、超過したストレージのその時点の PTC の定価に基づき請求されます。

追加ストレージ: お客様は、データ移行及び／又はシステム統合のために、追加のストレージ容量を購入する必要があります。

Windchill+ Select for Medical Device

Windchill+に適用される上記のすべての条件に加えて、Windchill+ Select for Medical Device オファリングには以下の追加条件が適用されます。

USDM Life Sciences は、GxP 業界で 20 年以上の経験を持つ信頼できる PTC パートナーです。詳細については、<https://usdm.com> を参照してください。

USDM Baseline Assurance Package は、医療機器用の基準となる標準仕様の構成済み SaaS ワークフロー及びそれに使用される基本機能が、基準となる使用目的に対して、期待通りに稼働することを保証するために開発されました。このプランでは、PTC がお客様のために医療機器用の SaaS 環境を構築した際の展開プロセスも検証しました。Baseline Assurance Package は、お客様が FDA の 21 CFR Part 11 及びその他の世界標準のコンピュータシステム検証要件を満たす能力を促進します。

Baseline Assurance Package には、毎年更新される USDM Vendor Audit and Assurance Report（ベンダー監査・保証報告書）も含まれます。Baseline Assurance Package は、Windchill+ Select for Medical Device の基本ライセンスに含まれています。お客様固有の検証成果物は本オファリングには含まれず、お客様の責任で作成するか、USDM などの適格なサービス・パートナーと契約して作成することができます。

ライフサイエンス企業は、ベンダーの製品やサービスが適用される規制要件に適合していることを確認する責任を負いますが、この Baseline Assurance Package は、USDM が実施したベンダー監査の結果と合わせて、PTC の手順を証明する文書として活用することができます。

ThingWorx Navigate for Windchill+

はじめに

ThingWorx Navigate for Windchill+ オファリングでは、Windchill+ インスタンスへの接続が含まれるほか、追加料金をお支払いいただくことにより、ERP や CRM など外部のオンプレミスシステム及びクラウドシステムとの統合のサポートが含まれます。

オファリングに関する基本事項

ThingWorx Navigate for Windchill+ は、別途購入可能なオプションサービスが付属している標準サービスパッケージとして入手できます。ソリューションには、お客様固有の要件に対応することを目的とした、各種の

ソフトウェア使用权、標準のクラウドサービス使用权のバンドル、及びアドオンクラウドサービスが含まれています。このソリューションは、Windchill+ オファリングに対する拡張として販売されます。

- Thingworx Navigate for Windchill+ は、登録ユーザー又はアクティブデイリーユーザー単位での契約となります。
- オファリングタイプごと（登録ユーザー、又はアクティブデイリーユーザー）に割り当て可能な登録ユーザープロファイルは、**View**、**Contribute**、**Connected PLM View**、**Connected PLM [Contribute]** の4タイプです。各ユーザータイプでは、当該のプロファイルで使用权が提供される機能に対してのみ、割り当てられているユーザーにアクセス権が付与されます。Contribute プロファイルには、View 機能へのアクセスが含まれます。お客様は、ThingWorx Navigate for Windchill+ の本番環境でユーザーを作成する必要があります。ユーザーの作成及び割り当てが管理されていない場合、予想外の消費量が記録され、それに付随する超過料金が生じる可能性があります。PTC は、システムで不適切に管理されているユーザーに関して責任を負いません。
- ThingWorx Navigate を Windchill+製品とともに使用しているお客様は、Navigate ライセンスを使用する権限のあるすべてのユーザー及びグループを、関連する Windchill+ライセンスと関連付けなければなりません。例えば、当該ユーザーのために ThingWorx Navigate View ライセンスを購入されたすべてのユーザーは、PTC Windchill+ View 及び Print Only License Profile と関連付けられたグループのメンバーでなければなりません。

ThingWorx Navigate for Windchill+の標準の使用权には、以下が含まれます。

- 単一の本番インスタンス及び単一の非本番インスタンス
- 含まれる環境ごとに、単一の ThingWorx Navigate for Windchill+インスタンスと単一の Windchill+インスタンスとの統合
- すべての購入済み環境で共有される 500 GB のストレージ割り当て
- すべての環境にわたる、暦年あたり合計 6 回の指名サービスリクエスト（追加購入のためのオプション）
-
- お客様は、提供された PingFederate サービスを中央認証サーバーとして使用して、ID とアクセス管理の統合及び SSO エクスペリエンスを構成する責任があります。

また、以下の制限が適用されます。

- ThingWorx Navigate for Windchill+ のアプリケーションは、他のソフトウェアシステムにのみ接続できます。物理デバイスに接続するアプリケーションは、本サービスの構成要素として許容されません。
- ThingWorx Navigate for Windchill+ は、本サービスの構成要素として Microsoft Azure IoT Hub を含みません。
- 標準の構成要素（前掲）として含まれているシステム以外の追加的なシステムへの接続は、別途購入され、かつ見積書／製品スケジュールで定義されていない限り含まれません。
- アクティブデイリーユーザーのライセンスは、ライセンス数を超える状態での使用は許容されません。契約された数のユーザーのみが使用できます。

- ThingWorx Navigate for Windchill+の View ライセンスでは、以下のことがお客様に許諾されます。ThingWorx Navigate View アプリケーションにバンドルされるコンポーネントから得られる情報を表示すること
- 付属の ThingWorx Navigate View アプリケーションに固有の ThingWorx Navigate アプリケーションにバンドルされている ThingWorx Navigate コンポーネント（ウィジェット、形状及びテンプレート）を設定するために、ThingWorx Composer 及び ThingWorx の管理機能を使用すること
- 以下の基本的な Windchill 機能に制限された表示権限のある状態で Windchill アプリケーションに直接ログインすること
 - Windchill の検索エンジンを使用して、Windchill 管理の対象物を、メタデータ及び内容データ内においてキーワードで全文検索する機能
 - データ検索を実行し、Windchill 管理の対象物をメタデータの合致により探し出す機能
 - キャビネット／フォルダー内の情報分類構造から Windchill 管理の対象物を多角検索する機能
 - 前述の機能により検索された管理対象物を「プロパティ」ページで確認する機能。「プロパティ」ページは、Windchill 管理の対象物のメタデータプロパティを外形化し、対象物の一部としてファイル内容がある場合には、その CAD でないファイル内容をダウンロードする機能を提供します。
 - 対象物を印刷する機能
 - Creo View で表示可能物を開く機能及び 3D 表示可能物を開き測定する機能。ただし表示可能物のマークアップ機能は含まれません。
- お客様は、前掲の一覧に記載のない機能を使用してはならないものとします。正確を期するため具体的に述べると、ThingWorx Navigate ライセンスは、以下の操作を実行するための権限を、これらに限定されることなくお客様に付与しません。
 - PTC により販売されているソリューションにおいて情報を作成すること
 - ThingWorx のプラットフォーム 統合機能を以下の目的に使用すること
 - a. 情報を、ある PTC ソリューションから別のシステム（ファイルシステムを含む）にエクスポートすること
 - b. PTC 以外のソリューションからの情報を取得すること（これには ThingWorx Connected PLM のライセンスが別途必要です）
 - c. システムで情報を作成又は編集すること
 - d. ThingWorx Navigate アプリケーションにバンドルされているもの以外のコンポーネントが必要となるシステムとの統合環境を構築すること
 - ThingWorx プラットフォーム を使用して、ThingWorx Navigate アプリケーションにバンドルされているものに加えてコンポーネント（ガジェット、ウィジェット、形状又はテンプレート）を新規作成すること
 - ThingWorx プラットフォーム を使用して、ThingWorx Navigate アプリケーションにバンドルされているもの以外のコンポーネント（ウィジェット、形状及びテンプレート）が含まれるアプリケーションを新規作成すること

- ThingWorx に対して、又は PTC が販売しているソリューションと通信するために ThingWorx Navigate アプリケーションによって使用される PTC Solution Extension レイヤーに対して直接アクセスすること
- 物的 Asset（資産）（例えば、物理デバイス、装置、及び製品）から直接的又は間接的に情報を取得及び／又は物的資産を制御するアプリケーションを作成するために、ThingWorx Platform を使用すること。物的 Asset（資産）に接続するアプリケーションの開発には、ThingWorx Platform のライセンスが別途必要である。
- 以下の Windchill 機能を使用すること
 - a. ワークフロー及びライフサイクル作業の項目に参加する機能
 - b. コンテンツファイルをアップロードする又はメタデータをどのような形であれ変更する機能
 - c. データを作成又は変更する機能

ThingWorx Navigate Contribute

ThingWorx Navigate – Contribute ライセンスは、ThingWorx Navigate View ライセンスに含まれるすべての機能及び Windchill Contribute License Profile に公開されたすべての機能をサポートします。

ThingWorx Connected PLM

このライセンスのユーザーは、カスタムアプリケーションを作成するために、並びに、PTC 及び第三者製エンタープライズシステムに接続し、接続されたシステムの情報を閲覧若しくは作成及び更新するために ThingWorx Composer 及び ThingWorx Mashup Builder を使用することができます。カスタムビューアプリケーションの各ユーザーは、カスタムビューアプリケーションに公開されるシステムからのコンテンツに対する表示、作成及び更新権限が必要です。例えば、Windchill に接続するカスタム Navigate アプリケーションを使用する各ユーザーは、カスタムアプリケーションの機能に応じて、ThingWorx Navigate View 又は ThingWorx Navigate Contribute ライセンス（若しくは Windchill+ の Author ライセンス）に加えてこのライセンスを保有していなければなりません。

ThingWorx Connected PLM ライセンスは、エンタープライズシステム（例えば Oracle ERP、SAP、CRM システムなど）に接続するため及び PTC の Windchill+ 製品に接続するためのみに使用できます。いずれもコネクテッド製品やウェアラブル（装着可能な）端末、生産機械及び物的資産などのデバイス及びデバイスが接続されているあらゆるエッジサーバー又はエッジサービスからのデータにアクセスするためには使用できません。また、お客様の社内にある生産施設やお客様の供給業者の生産施設に属している生産システム、生産プロセス、及び／又は生産作業に接続するために使用することはできません。ThingWorx Connected PLM は、ThingWorx サーバーのインスタンスごとに 1 つの Connected PLM Base を前提条件とします。